

感染症情報 3月1日～7日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	736例(堺市	31例)
②RSウイルス感染症	185例(堺市	5例)
③溶連菌感染症	154例(堺市	5例)
④突発性発疹	58例(堺市	3例)
⑤咽頭結膜熱	29例(堺市	0例)

府下インフルエンザ定点298医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	2例(堺市	0例)
---------	-------	-----

が報告された。今回は前週比23.6%増の1,209件であった。感染性胃腸炎は府下で前週と比べて22%増、堺市では前週・今回とも31例であった。RSウイルス感染症が府下で前週より25%増、堺市で前週1例→今回5例であった。溶連菌感染症は府下で47%増、堺市で前週4例→今回5例であった。咽頭結膜熱が府下で16%増、堺市で前週3例→今回0例であった。

インフルエンザは府下で2例(堺市で0例)の報告は、昨年同週(2,941例)に比べて著減した状態が続いている。

指定感染症:

【大阪府の推移】(患者報告数:大阪府感染症情報センター、陽性率:大阪府)

報告	2/15～2/21	+634例、累計46,581例に、
	2/22～2/28	+506例、累計47,123例(原文ママ)に、
	3/1～3/7	+547例、累計47,670例になっていた。
陽性率	2/17～2/23	33,775検査中、629件陽性、陽性率1.9%、
	2/24～3/2	33,923検査中、481件陽性、陽性率1.4%、
	3/3～3/9	44,443検査中、552件陽性、陽性率1.2%

【堺市の推移】(陽性者数は堺市居住者のみ、陽性率は堺市以外の居住地を含む)

陽性者数	2/15～2/21	+61例、累計は3,015例であった。
	2/22～2/28	+39例、累計は3,054例であった。
	3/1～3/7	+37例、累計は3,091例であった。
	(11/23-11/29の週に堺市と大阪府で2例食い違いがある。堺市累計では3/7までに3,089例)	
陽性率	2/18～2/24	2,724検査中、68件陽性、陽性率2.5%、
	2/25～3/3	2,166検査中、34件陽性、陽性率1.6%、
	3/4～3/10	3,763検査中、30件陽性、陽性率0.8%であった。

(この週に検査数が多いのは、3月10日発表分に高齢者施設等で集中検査があったため)

麻疹や風疹の報告はなかった。